

平成28年度 開校120周年記念

第27回 教育研究発表会

道徳教育を
核とした教育活動

学校教育目標

考える子 明るい子 強い子 働く子

本気で学校力向上
学びの花を咲かせよう

子ども力

教師力

地域力

研究主題 目指す子ども像

自己を見つめ、互いを認め合い
かかわりあう子どもの育成

～互いのよさや違いを認め合う人間関係づくり～

～目指す子ども像～

自分が好き 友達が好き 学校が好き

帯広の街が好きな帯小っ子

対話を通して互いの考えの違いやよさに気付き、自他の思いを大切にできる子ども

集団の中で、自分のよさを生かしながら、友達と信頼・協力できる子ども

道徳性の育成

① 問題解決的な道徳の学習を
取り入れた指導方法の工夫

道徳的実践力

道徳的価値の自覚の高まり

豊かな自己表現を目指した
道徳の時間

② 目的意識のある
総合単元ユニット

言葉の力の育成(国語科など)
日常における道徳的実践の場

学校 地域 家庭

問題解決的な学習を生かした道徳授業

① 多面的, 多角的に考える

道徳的諸価値についての理解を基に,
自己を見つめ, 物事を多面的・多角的に考える。

② 対立する価値観を比較検討する

複数の内容項目（道徳的価値）を扱うことも可能

③ 道徳的行動や習慣化への指導

「多面的・多角的に考える」の捉え方

例) 多面的に考えるとは

親切はいいことだという理解だけではなく、一方では、難しいものであるという方向から考えること。親切については、様々な感じ方、考え方があろうという方向から考えること。

例) 多角的に考えるとは

1つの道徳的価値について学習する時に、関係する価値と関連付けて考えること。親切をする時は勇気が必要であったり、感謝が必要であったりすることを教師が意図的に関連付ける指導を行うことは、親切について多角的に考えさせることになること。

児童自らが道徳的価値
の理解を基に考え、
様々な視点から物事を
理解し主体的に学習に
取り組む発問構成

導入

体験を想起する

「ずれ」を感じさせる

問題意識をもたせる

あたり前と
思っていた
もののずれ

他者と自分
のずれ

教材との出会い

中心発問

展開

心を耕す

考えを創造する

問題意識との接続

それまでの自
分の考え方を
明らかにする

自分との
議論

友だちの考えを
聞いて新たな
価値に出会う

自分の考え
を友だちと
交流し合う

相手との
議論

多面的多角的に考える

終末

発信する

道徳的行為や習慣化

導入における
根本的な問い
に結論を出す

価値の内面
化から道徳
的实践へ

自分を見つめる

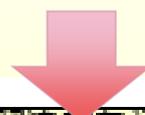
きりかえしの発問

事前アンケート
生活場面の想起

教材に記された問題をふまえること

内容項目に示された理想像と児童の実態を繋ぐこと

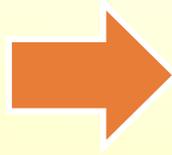
帯広小学校で目指している授業スタイル



問題解決的な道徳の学習の時間

	読み物教材の登場人物の、心理理解中心の学習。	問題解決的な学習。	体験的な学習。
ねらい	教材の登場人物の心情を多面的に理解する。	問題解決的な学習を通して、児童が主体的に考え、問題解決に必要な資質・能力を養う。	役割演技などの体験的な学習を通して、児童が主体的に考え、問題解決に必要な資質・能力を養う。
体験を想起する。	① 道徳的価値に関する内容の提示。教師の話や発問を通して、本時に扱う道徳的価値を想起させる。	① 問題の発見。教材や日常生活から道徳的な問題を見つける。	① 資料の提示。資料の概要の説明や登場人物の確認などを行う。
心を耕す。	② 登場人物の心情の読み取り。教材を読んで、場面を追って登場人物の心情を読み取り、共感的に理解する。 ◎主な発問例。 ○○の時の気持ちはどんなだったでしょう。 ○○はどんなことを考えていたのでしょうか。	② 問題の探究。発見した問題について、発問を通してなぜ問題となっているのか、問題をよりよく解決するためにはどのような行動をとればよいのかなどについて多面的・多角的に考え議論する。 ◎主な発問例。 なぜ、大切なのか。 どうすればよいのか。 自分ならどうするか。 なぜそうするのか。	② 道徳的価値を含む問題場面の提示。発問を通して登場人物の心情を理解し、何が問題になっているのか状況を把握する。 ③ 再現の役割演技。実際の問題場面を役割演技で再現し、登場人物の心の軌跡を理解するとともに、取り得る行動を多面的・多角的に考える。
考えを想起する。	③ 振り返り。本時の授業を踏まえ、各自で自分の生活を振り返る。	③ 問題の解決。問題の解決を踏まえ、問題に対する自分なりの考えや解決方法を導き出す。	④ 新たな場面の提示。再現の役割演技で学んだことを一般化するため、同様の新たな問題場面を提示し、グループで何が問題になっているのかを考え、取り得る行動を多面的・多角的に考える。
発信する。	④ まとめ。教師による説話。	④ まとめ。本時を振り返り学習したことを今後どのように生かすことができるかを考える。	⑤ 感想を聞き合ったり、ワークシートに記入したりして自分の取り得る行動について振り返る。

読む
道徳



考え議論する
道徳

道徳的価値を
自覚するために考える

考え

- ① よいよい 自己の生き方
- ② よいよい 社会での生き方

誰と議論するのか

議論する
道徳

- ① 他者との議論
- ② 自己との議論

授業づくり スマイルリング8

ねらいは
すっきり
明確に

導入は
さらっと
本時へ

無理なく
無駄なく
基本発問

中心発問
が命です

自己を
見つめる
書くタイム

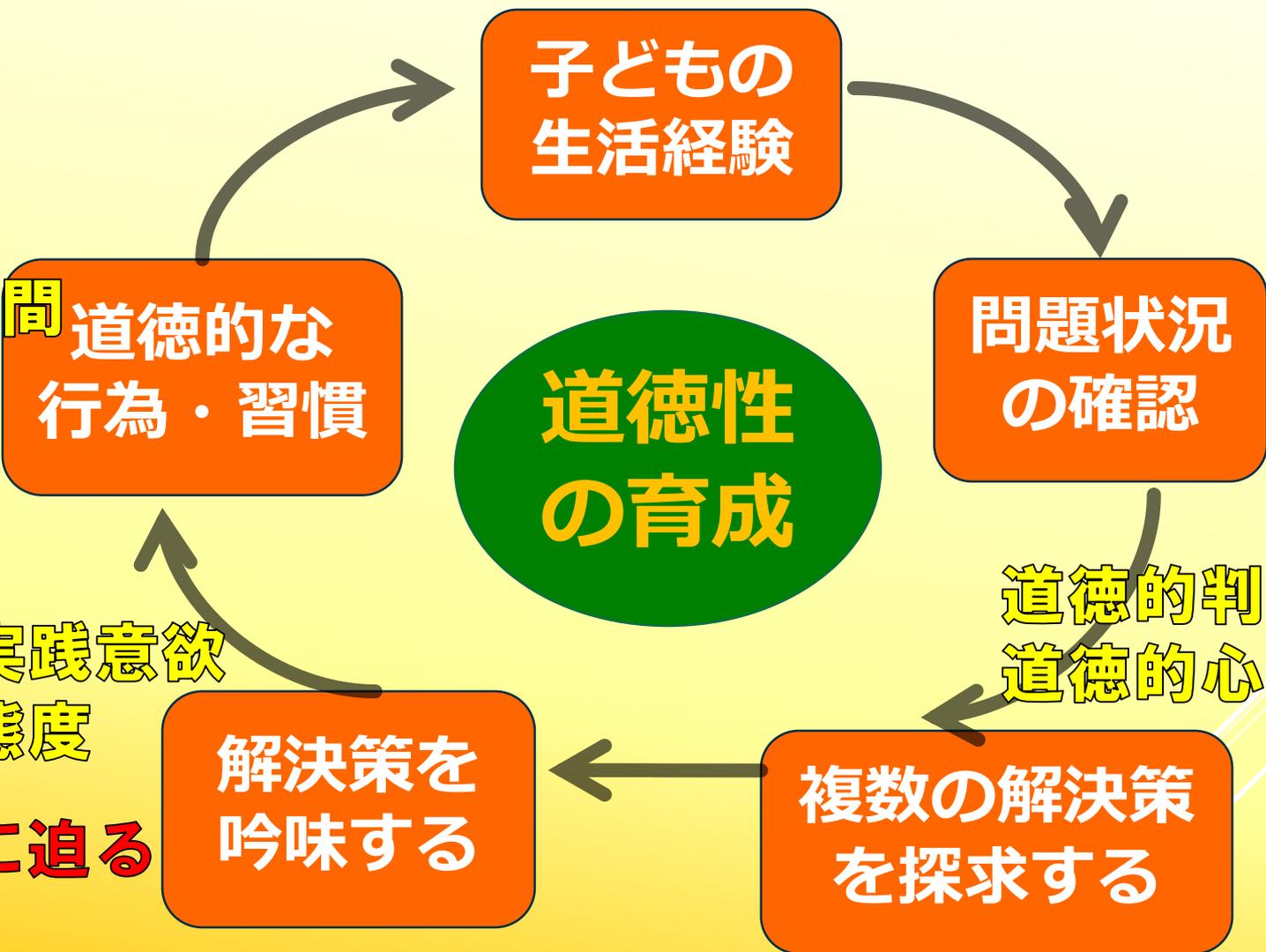
自己との
対話

道徳ノートは
宝物

板書で
トーク

総合単元ユニット ⇒ 道徳性の育成

各教科
特別活動
総合的な
学習の時間
体験活動



道徳的な
行為・習慣

子どもの
生活経験

問題状況
の確認

道徳性
の育成

道徳的判断力
道徳的心情

解決策を
吟味する

複数の解決策
を探求する

道徳的実践意欲
道徳的態度
ねらいに迫る

今年度の道徳の重点と スマイルリング道徳

1年生を迎える会

120周年式典

かけはし活動

今年度の指導の重点

あいさつなどの基本的な生活習慣，社会生活上のきまりを身に付け，善悪を判断し，相手のことを考えて行動する心情を育む

USO

(たてわり班活動)

たてわり清掃活動

さよなら集会

道徳における評価法

パフォーマンス評価

子どもが課題に取り組み**思考**し
判断し**表現**する過程を評価

情報の理解力、文脈の解釈、既存の知識や経験へ結び付け、知識や技能の活用などを評価

自己評価

授業における見取り
とする各々の自己課題を大切にしながら
自己内対話での評価

ポートフォリオ 評価

成果を**ファイル**に収録し
学習状況を把握
道徳ノート・かがや木・
自己評価の記録

特別支援教育 のぞみ学級（知的）の研究

のぞみ学級の目指す子ども像

共に学ぶことにより、
自己理解・他者理解
を高め、様々な思いを考
えることができる子ども



友達や地域社会の人達と、
関係性をつくり、**共に生きる**
ことができる子ども

生活単元学習



意欲的に活動で
きる授業，生活力
を高める授業の
構築

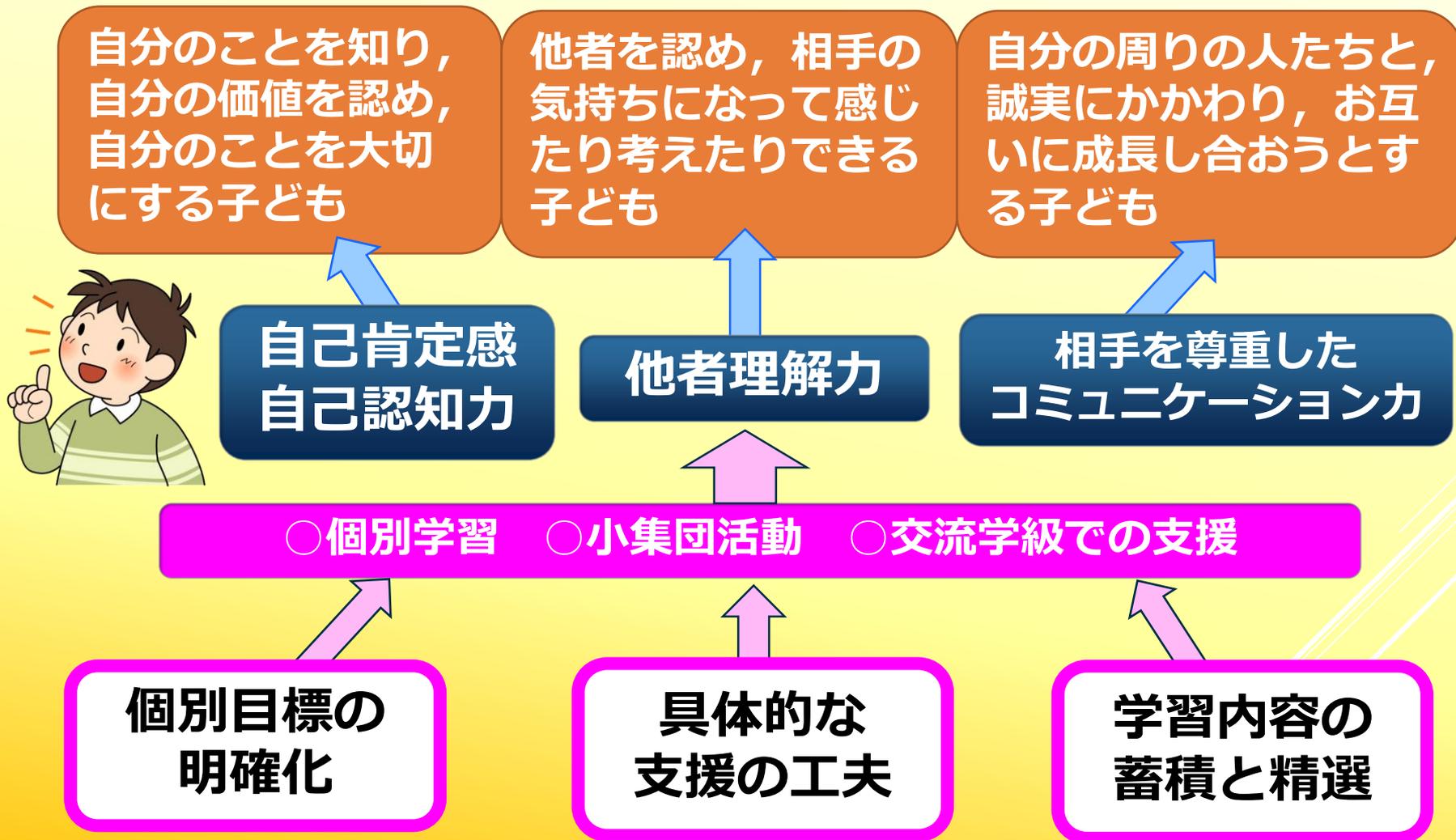
自分の思いの表
出，他者理解に
つながる工夫と
展開

交流学習の
充実

地域交流の
充実

特別支援教育 こもれび学級（情緒）の研究

こもれび学級の目指す子ども像



特別支援教育 ことばの教室（言語）の研究

ことばの教室の目指す子ども像

のびのびと自己表現
できる子ども

活発なコミュニケーション活動をとおして
積極的に生活していこうとする子ども

一対一のかかわりを中心に

集団参加の力

豊かな自己表現と人とのかかわり
(コミュニケーション)

子どもの困り感の理解と
ことばの面へのアプローチ



ご清聴ありがとうございました

